

市民のみなさまから頂いている

# 横浜みどり税

により

## 樹林地の保全が進んでいます。

—特別緑地保全地区指定等拡充事業の取組—



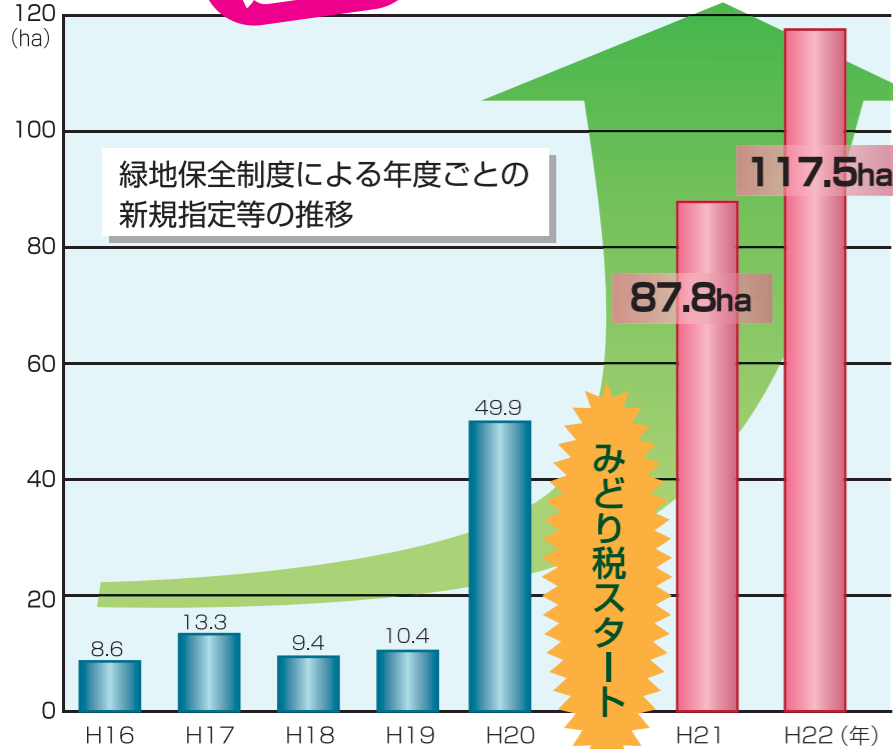
平成22年度に指定された鍛冶ヶ谷特別緑地保全地区（栄区）

H22年までの目標値189.7ha

目標達成

# 205.3ha

樹林地の新規地区指定量（H21～22年）



緑地保全制度による年度ごとの新規指定等の推移

みどり税スタート

みどりアップ計画前

指定量  
約20ha/年  
5年間の平均（H16～20年）

約5倍

みどりアップ計画後

指定量  
約100ha/年  
2年間の平均（H21～22年）

### 横浜みどりアップ計画 （新規・拡充施策）

緑豊かな環境を将来に残し、市民と一緒に緑を守り育てていく計画で、「樹林地を守る」「農地を守る」「緑をつくる」取組のことです。

### 横浜みどり税

「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」の財源の一部として、市民税の均等割に上乗せされています。（個人900円/年、法人9%/年）

### ご連絡・お問い合わせ先

横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局（横浜市環境創造局政策課）

〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL:045-671-4214 FAX:045-641-3490 E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp

<横浜みどりアップ計画市民推進会議ホームページ>

横浜みどりアップ計画市民推進会議

検索

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/midori-up/midori-up-plan/shiminsuishinkaigi/>

第10号 平成23年12月発行

編集: 横浜みどりアップ計画市民推進会議広報部会 / 発行: 横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局（横浜市環境創造局政策課）制作: 企業組合エコ・アド



# 濱RYOKU

\*濱RYOKUとは「市民力」と「緑」のリョクを兼ねています。

## みどりのオープンフォーラム

開催しました

～まちなかの緑を増やそう!!～

10月1日（土）に、t v kハウジングプラザ横浜において、横浜のまちなかの緑について市民の方などと一緒に考えるために「みどりのオープンフォーラム～まちなかの緑を増やそう!!～」を開催しました。

当日は、爽やかな秋晴れのもと、30名の方にご参加いただき、市内企業の緑化の取組事例の紹介や、グループディスカッションを屋外で行いました。

### 民間企業の取組事例紹介

- 相鉄ホールディングス株式会社  
（横浜駅西口「相鉄ジョイナス」屋上庭園「ジョイナスの森彫刻公園」について）
- 株式会社 t v k コミュニケーションズ  
（「t v kハウジングプラザ横浜」リニューアル時の緑化への取組等について）

### グループディスカッション テーマ「まちなかのみどりを増やそう!!」

グループテーマ

- 「都市部・市街地の緑を増やそう！」
- 「地域（住宅地）の緑を増やそう！」
- 「公共空間の緑を増やそう！」



貴重なご意見をいただきました！

参加者は熱心な方ばかり、活発な議論は時間が足りないほどでした。

主催: 横浜みどりアップ計画市民推進会議

みどりのオープンフォーラム会場「t v kハウジングプラザ横浜」

# 民間企業の取組事例紹介

みどりアップ計画の3本柱の一つ「緑をつくる」を進める事例として民間企業の緑化の取組の紹介がありました。

## 緑化事例紹介 ① 横浜駅西口「相鉄ジョイナス」屋上庭園「ジョイナスの森彫刻公園」について



ジョイナスの森彫刻公園

相鉄ホールディングス株式会社  
経営戦略室 ブランド戦略担当 課長

田中 成人 氏

昭和40年頃、横浜駅西口の再開発事業にあたり、「コンクリートジャングルの都心に大きな緑の森を作ることができたら、どんなにか気持ちのいいことだろう」という開発担当者の夢から始まった屋上庭園「ジョイナスの森（現：ジョイナスの森彫刻公園）」完成までの道のりや、現在取り組まれている「ジョイナスグリーンプロジェクト」等について紹介がありました。



説明パネル



田中氏による説明



相鉄ジョイナスHP  
<http://www.sotetsu-joynas.com/shop/73>  
「相鉄グループCSR報告書2011」  
<http://www.sotetsu.co.jp/group/csr>

## 横浜市の緑化施策紹介

横浜市環境創造局みどりアップ推進課 緑化推進担当 松壽課長

横浜市で取り組んでいる緑化施策について、具体例の写真等を示しながらわかりやすい内容で説明がありました。

『民有地の緑化推進』では、『花と緑のスプリングフェア』などの緑化イベント開催による普及・啓発や、『建築物の屋上・壁面、生垣等緑化助成事業』の助成内容、『地域緑のまちづくり事業』による地域での緑化活動への支援等について紹介がありました。

また『緑化制度の運用』では、建築・開発行為の際に、どのように緑化を推進しているのか、『公共施設の緑化推進』では、『公共施設緑化事業』による校庭や園庭の芝生化などについての話がありました。

松壽課長による説明



## 緑化事例紹介 ② 「t v kハウジングプラザ横浜」リニューアル時の緑化への取組等について



横浜バラクライングリッシュガーデン

株式会社 t v k コミュニケーションズ  
t v k ecom parkゼネラルマネージャー代表取締役  
ecomカンパニー 社長執行役員

宇井 良太 氏

2009年春に実施された電柱撤去、植栽、緩やかな歩道など緑が溢れる街づくりをコンセプトに心地よい空間を目指したリニューアル（緑化率3.8%→23.2%へ大幅UP！）についてや、2010年3月にオープンした首都圏初の本格的な英国式庭園として「横浜バラクライングリッシュガーデン」について紹介がありました。



宇井氏による説明

説明パネル



t v k ハウジングプラザ横浜  
<http://www.tvk-yokohama.com/ecomark/>  
電車：相鉄線平沼橋駅より徒歩5分。  
横浜駅より徒歩20分。  
車：駐車場500台。  
t v k ハウジングプラザ横浜無料送迎バス  
横浜駅西口天理ビルあおぞら銀行前発着。

# グループディスカッション テーマ「まちなかのみどりを増やそう!!」

## 各テーブルから出た意見を紹介します



商業地に花を植えるような事業所とも協力が必要  
市街地・公園の緑は増やせるが、維持管理が大変

### グループテーマ 都市部・市街地の緑を増やそう!

まちなかに緑の空間は必要  
みどり税で花を増やすのも良いが、管理部分に補助金を出すなども必要  
商店街やコンビニにも協力してもらえらるシステムづくりが必要

緑の管理に関して、地域と行政の役割分担がわかりづらい  
若い人でも手伝ってくれる人は増えている

### グループテーマ 地域（住宅地）の緑を増やそう!

自治体（行政）と地域が協力した人材育成のための工夫が必要  
子どもと一緒に緑に携わる機会が必要  
花壇の手入れなどにより地域のつながりが出来る

緑の質も大切  
緑の先生のような専門家なども増やしていくことが必要

### グループテーマ 公共空間の緑を増やそう!

学校の緑が少ない。芝生を増やしたり、昆虫と触れ合う場所が必要  
緑の大切さの認識を高める（知名度を上げる）  
緑の質を守るための財源が必要（緑には年々費用がかかる）

### その他 参加者アンケートより

緑に対する思いなど、色々な意見が聞けて大変よかった。

民間企業が緑化について努力されていることがわかった。今後とも続けてもらいたい。

みどり税でこういうこともやっているんだということが、細かくわかった。

屋外での広々とした環境の中で緊張がほぐれた。

## グループディスカッションの感想

屋外のイベントスペースに移り、グループディスカッションを進めました。皆屋外スペースで気持ちよく議論を進めることができました。

「まちなかの緑を増やそう!!」というテーマだったのですが、どのテーブルでも緑を増やすことよりも、維持管理が大切という意見が多かったのは、とても印象的でした。様々な市民が参加していたので、とても重要な話がたくさん出ました。多世代の方たちが協力していくには、どうしていったらよいか。維持管理の予算は減っているようだが、反対にもっと維持管理への予算は増やすべきではないのか。市民が活動していくには、それを指導していく専門家が必要。緑の質も考えていけるべき。子どもたちの環境教育も大切。など、今後の方向への提案もたくさん出ていました。

さらに、今回は民間企業の緑化の事例紹介でしたので、このような取組を他の企業にも伝えていき、まちなかの緑を増やすことに企業ももっと努力して欲しいと思いました。

今回の議論を、それこそまちなかに持ち込んで横浜のいろいろな地域で「まちなかの緑を増やそう!!」について話し合いがされ、各地域で緑を増やし、なおかつ維持管理をどうやって進めていくかの知恵が出てくるとよいと思いました。それも世代を超えた楽しい活動が進められ、まちなかの緑が増えるとよいなあということを感じた一日でした。 レポート：吉田洋子（市民推進会議広報部会）